

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	高知医療学院
設置者名	医療法人 新松田会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	90 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

別紙「令和5年度実務経験のある教員等による授業科目一覧」を本学院ホームページで公表している。
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	高知医療学院
設置者名	医療法人 新松田会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	高知医療学院学校評価委員会
役割	学生からの授業評価アンケートをもとに、学校内で総括を行い、その内容を同委員会において、評価する。外部人材からの意見を取り入れ、学校運営、教育活動について、改善の必要があれば高知医療学院へ意見し、改善を図る。2020年度より年1回確実に実施している（5月頃開催）。 評価結果、改善内容については、本学院ホームページに公表する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
愛宕病院 事務長	2022年4月 ～2024年3月	
愛宕病院 リハビリテーション部 部長	2022年4月 ～2024年3月	
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	高知医療学院
設置者名	医療法人 新松田会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>令和5年度 高知医療学院 理学療法学科 授業科目要項 SYLLABUS 参照】                  授業科目要項(シラバス)作成について                  前年度に翌年のカリキュラム決定後、各科目担当講師にシラバス作成依頼し、授業目標、授業内容、教科書、参考書、授業方法、成績評価方法について回答を受け、全体を集約して、授業科目要項(シラバス)を冊子にて作成している。シラバスは本学院ホームページでも公表している。                  また、問い合わせがあれば本学院教務部で授業科目、授業内容、成績評価に関する情報開示を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	本学院教務部で授業科目、授業内容、成績評価に関する情報開示を行う。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>【令和5年度 高知医療学院 理学療法学科 授業科目要項 SYLLABUS 参照】                  シラバスに掲載されている、成績評定方法に沿って、小テスト、定期テスト、レポート、卒業研究論文をもとに、各講師の採点および単位認定会議で、単位認定としている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  <b>【令和5年度 学生便覧 20・21・31 ページ参照】</b>  シラバスに記載の「成績評価方法」をもとに、単位認定試験等を行う。前期および後期の期間ごと(2回/年)に、成績結果を集計し、各科目の平均点、成績評定別人数を算出している。  問い合わせにより、本学院教務部で成績評価に関する情報開示を行う。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>本学院教務部で成績評価に関する情報開示を行う。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  <b>【令和5年度 学生便覧 32 ページ 参照】</b>  3年次での取得すべき単位を全て取得することを方針し、単位取得状況について、卒業認定会議を開催し、卒業の認定を行う。  問い合わせにより、本学院教務部で卒業認定に方針・規定等の情報開示を行う。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>本学院教務部で卒業認定に方針・規定等の情報開示を行う。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	高知医療学院
設置者名	医療法人 新松田会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	問い合わせにより高知医療学院にて開示
収支計算書又は損益計算書	問い合わせにより高知医療学院にて開示
財産目録	問い合わせにより高知医療学院にて開示
事業報告書	問い合わせにより高知医療学院にて開示
監事による監査報告（書）	問い合わせにより高知医療学院にて開示

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療分野		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	101 単位	78 単位	5 単位	18 単位	単位	単位
		101 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		60 人	0 人	6 人	25 人	31 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）前年度に翌年のカリキュラム決定後、各科目担当講師にシラバス作成依頼し、授業目標、授業内容、教科書、参考書、授業方法、成績評価方法について回答を受け、全体を集約して、授業科目要項(シラバス)を冊子にて作成している。 完成後、年度初めに、授業科目要項(シラバス)冊子を配布している。
成績評価の基準・方法
（概要）シラバスに掲載されている、成績評定方法に沿って、小テスト、定期テスト、レポート、卒業研究論文をもとに、各講師の採点および単位認定会議で、単位認定としている。
卒業・進級の認定基準
（概要）【令和4年度 学生便覧 21・31・32 ページ参照】 卒業資格にもとづく単位取得状況について、卒業認定会議を開催し認定 進級資格にもとづく単位取得状況について、進級認定会議を開催し認定

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学修および学校生活など定期的な面談</li> <li>・小テスト結果状況の公表および成績不良学生への面談及び補習 (学習サポートシステム:口頭指導、集団補習、個別指導など)</li> <li>・定期テスト前の夜間開放学修支援</li> <li>・テスト結果の公表時の面談</li> <li>・テスト結果集計後の面談</li> <li>・各学年担任・副担任制度を取っており常時相談可</li> <li>・学生相談室を設置し、学修および生活面で相談可 など</li> </ul>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	0人 (%)	23人 (85.2%)	4人 (14.8%)
(主な就職、業界等) 高知県内外の医療機関			
(就職指導内容) 「就職支援室」を設置し、学生に対し、個別に就職相談、就職指導を行っている。また就職説明会を実施し、医療機関と学生が直接関われる場を設けている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 理学療法士免許取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
69人	6人	8.7%
(中途退学の主な理由) 学生本人の進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教員が個別に面接を実施、状況により、保護者も交えて面談を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理学療法学科	400,000 円	650,000 円	550,000 円	その他は施設充実費、実験実習費等
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学生からの授業評価アンケートをもとに、学校内で総括を行う。 本学院ホームページで授業評価アンケート結果を公表する。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学生からの授業評価アンケートをもとに、学校内で総括を行い、その内容を学校評価委員会において、評価する。外部人材からの意見を取り入れ、学校運営、教育活動について、必要があれば改善を行う。学校評価委員会は 2020 年度より、年 1 回実施し、その内容はホームページに掲載している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
愛宕病院 事務長	2022 年 4 月～ 2024 年 3 月	事務長
愛宕病院 リハビリテーション部 部長	2022 年 4 月～ 2024 年 3 月	理学療法士
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度より本学院ホームページに掲載 <a href="https://www.kochi-iryogakuin.com">https://www.kochi-iryogakuin.com</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.kochi-iryogakuin.com">https://www.kochi-iryogakuin.com</a>
--





(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H139310000064
学校名	高知医療学院
設置者名	医療法人 新松田会

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		20人	19人	21人
内 訳	第Ⅰ区分	-	-	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				21人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。